

\*\*\*\*\*

第 19 回 町田市交通マスタープラン推進委員会 会議録

\*\*\*\*\*

開催日時：2016 年 2 月 2 日（火）15 時 00 分～17 時 00 分

開催場所：町田市庁舎 2 階 2-1 会議室

\*\*\*\*\*

出席委員：（敬称略、順不同）

兵藤哲朗、岡村敏之、石川雄司（代理：小川）、下田利幸（代理：古野）、  
望月裕（代理：石原）、功刀正樹、磯嶋雅彦、上田敬生（代理：八山）、  
志賀英介（代理：秋川）、野木圭太、永山輝彦（代理：鈴木）、岡村淳、  
田崎達久（代理：佐々木）、本谷大、山崎龍男、藤井洋介（代理：芦澤）、  
安藤信哉、宮本聖士、米増久樹、松香光夫、船橋玲二

傍聴人：0 名

事務局：岩岡哲男交通事業推進課長、鈴木稔係長、高田絵美主任、佐々木真人主任、  
石阪啓介主任、若林裕子主事、小山慎太郎主事

\*\*\*\*\*

【会議次第】

1. 開会挨拶
2. 議題

\*\*\*\*\*

【議題】

1. 「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」の点検について
2. 町田市内のノンステップバスの導入について
3. 町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について
4. 町田市地域公共交通会議の設置について
5. 相原地域における公共交通システム導入検討の状況について
6. つくし野地域におけるコミュニティバス導入検討の状況について
7. 「2014 年度 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価」および  
「2016 年度 生活交通改善事業計画（案）」について
8. その他

\*\*\*\*\*

【資料】

「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」の点検について  
：資料 1

町田市内のノンステップバスの導入について：資料 2

町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について：資料 3

町田市地域公共交通会議の設置について：資料 4

相原地域における公共交通システム導入検討の状況について：資料 5

つくし野地域におけるコミュニティバス導入検討の状況について：資料 6

平成 26 年度 地域公共交通確保維持改善事業の概要について：資料 7 - 1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（ノンステップバス導入事業）：資料 7-2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（バス情報案内システム導入事業）：資料 7-3

バス運行情報案内表示機の運用状況について：資料 7-4

平成 28 年度 生活交通改善事業計画（案）（ノンステップバス導入事業）：資料 7-5

地域コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートの運行を開始：チラシ

\*\*\*\*\*

#### <開会挨拶>

省略

#### <委員委嘱>

省略

#### <議事>

##### 1. 「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」の点検について

[資料説明]

「町田市交通マスタープラン」及び「町田市都市・地域総合交通戦略」の点検について  
：資料 1

事務局による説明（省略）

[意見等]

（委員長）事務局の説明の通り、報告書のとりまとめが終わり次第、検討の結果を委員各位に送付するとのことであるので、その際は確認をお願いしたい。

##### 2. 町田市内のノンステップバスの導入について

[資料説明]

町田市内のノンステップバスの導入について：資料 2

事務局による説明（省略）

[意見等]

（委員長）神奈川中央交通株式会社から何か意見があればいただきたい。

（A 委員（代理：B 氏））事務局から説明があったとおり、来年度は、町田市内を運行する路線を持つ営業所に合計 5 台のノンステップバスの導入を計画している。また、現在、当社としても、国土交通省の「移動等円滑化の促進に関する基本方針」の整備目標にあわせて、平成 32 年度末までに、当社が運行するノンステップバスの比率を 70%以上にする方向で進めている。

（委員長）他に意見があればいただきたい。

（C 委員）平成 28 年 4 月より、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されることに関連して、事業者にも障害を理由とする差別を解消するための措置を実施する努力義務が発生するが、取り組みがあれば教えていただきたい。

（A 委員（代理：B 氏））当社の取り組みとしては、先ほど述べた通り、平成 32 年度末までに、当社が運行するノンステップバスの比率を 70%以上にする方向で進めている。また、バス乗務員のお客様対応については、毎月、お客様対応マニュアルを

用いて乗務員の教育を行っているほか、年1回、高齢者や車いすのお客様への対応について、乗務員の教育を実施している。

### 3. 町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について

#### [資料説明]

町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について：資料3

事務局による説明（省略）

#### [意見等]

(委員長) 連節バスの運行が開始する2月28日は何便出るのか。

(事務局) J2開幕戦の試合前に町田バスセンターからは、2便出る予定である。

(委員長) 今はどのような陸上競技場までのアクセス方法があるのか。

(事務局) 鶴川駅から、イベント時などに運行している直通バスがある。また、町田駅から路線バスで近くのバス停までアクセスするという方法がある。

(委員長) どれくらいの頻度で、町田市立陸上競技場でJ2の試合が開催されるのか。

(事務局) 月に2回程度の予定である。

### 4. 町田市地域公共交通会議の設置について

#### [資料説明]

町田市地域公共交通会議の設置について：資料4

事務局による説明（省略）

#### [意見等]

(委員長) 承認ということによろしいか。

(委員一同) はい。

(委員長) この案件については承認とする。

### 5. 相原地域における公共交通システム導入検討の状況について

#### [資料説明]

相原地域における公共交通システム導入検討の状況について：資料5

事務局による説明（省略）

#### [意見等]

(D委員) 別紙1の1ページ目、①の年齢構成の円グラフが2つあるが、それぞれ何を表しているのか。

(事務局) 左のグラフが集計したアンケートによる年齢構成であり、右のグラフが平成22年の国勢調査による年齢構成である。

(委員長) 資料5の9ページ目、④バス停アクセスを考慮する、とあるが、新公共交通システムによりバス停まで移動してもらい、そこからバスを用いて目的地へ行ってもらうことを想定しているのか。

(事務局) その通りである。

## 6. つくし野地域におけるコミュニティバス導入検討の状況について

### [資料説明]

つくし野地域におけるコミュニティバス導入検討の状況について：資料6

事務局による説明（省略）

### [意見等]

(委員長) アンケートの対象は、高齢者中心とすることによろしいか。

(事務局) 資料6別紙2の2ページ目、問1の年齢に関する質問から、60歳以上の回答者が全回答者のおよそ半数となっているため、高齢者の回答が多いことが分かる。

(A委員(代理：B氏)) 資料6別紙2の3ページ目、問2の現在の公共交通機関を便利と感じていますか、の中で回答者の75%が「普通」または「便利」と回答しているとのことだが、年齢別に回答を分けたら、利用の実態がよく分かると思う。また、資料6別紙2の6ページ目、問5のコミュニティバスが実現したら行きたい先について、1番に挙がっているのが成瀬駅ということで、つくし野駅から成瀬駅に向かう既存路線があることも考慮して、うまく連携しながら考えていただきたい。

(委員長) 問2の質問の仕方だと、地域周辺の公共交通機関ではなく、23区内の目的地に向かう際に用いる公共交通機関なども対象にしていると誤解される可能性もある。クロス集計などを用いて、他の属性との関連を考慮して回答を解釈していただきたいと思う。

(事務局) この案件についても、地域公共交通会議で報告し、議論いただきたいと思っており、説明する際は、委員の方々の意見を考慮して資料を作成させていただく。また、問2については、回答者の年齢が高くなるにつれて、「やや不便」「非常に不便」と回答する割合が高くなっている。

## 7. 「2014年度 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価」および

「2016年度 生活交通改善事業計画(案)」について

### [資料説明]

平成26年度 地域公共交通確保維持改善事業の概要について：資料7-1

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(ノンステップバス導入事業)：資料7-2

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(バス情報案内システム導入事業)：資料7-3

バス運行情報案内表示機の運用状況について：資料7-4

平成28年度 生活交通改善事業計画(案)(ノンステップバス導入事業)：資料7-5

事務局による説明(省略)

### [意見等]

(委員長) 承認ということによろしいか。

(委員一同) はい。

(委員長) この案件については承認とする。

## 8. その他

### [資料説明]

地域コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルート<sup>①</sup>の運行を開始：チラシ  
事務局による説明（省略）

### [意見等]

- (委員長) 小田急バス株式会社や玉川学園コミュニティバス推進委員会から何か意見があればいただきたい。
- (E委員) まだ運行から間もないため、利用される方は少ないが、南ルートの運行は地元ではとても歓迎されている。地元組織としては、地域住民と調整をし、バス停の追加設置等を行うことで、より利用しやすい路線にしたいと考えている。